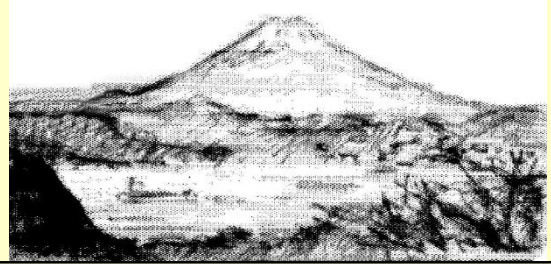


かけはし

昭島市立富士見丘小学校
校長だより No. 2

令和2年5月28日
稲垣 達也



本紙「かけはし」は、学校便りとは別に、校長便りとして、適宜、校長の所感を綴るものです。

学校再開!! 喜ばしいことばかりではありません 夏休みまでは まだ辛抱!! ゆっくり ゆったり ゆとりの中で 確かな教育を推進

【今、求められているもの】

かつて(20~30年前)、「ゆとり教育」が批判を浴びました。「ゆとり」で、子供たちの学力が下がった!と、一部の研究者による論争が盛り上がりました。

しかし、「ゆとり教育」という言葉は、存在しません。たぶんマスコミ等の造語です。当時、文部科学省では、「**ゆとりのある充実した学校生活の実現**」を目指していました。各教科等の目標・内容を中核的事項に絞って、子供たちの学習負担を適正化することにより、「**社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間**」を育もうとしていたのです。

その後も、「自ら学び、自ら考え、問題を解決する資質や能力」や「思考力・判断力・表現力」を中心とする『**生きる力**』の育成を重視するスタンスを貫いてきました。そして、新しい学習指導要領では、これまでにない未知の「予測困難な時代」の中で、「**持続可能な社会の創りに必要な資質・能力**」を養うことが求められています。根底を流れる教育観は普遍です。

【今こそ、求めるもの】

言うまでもなく、今、まさに、「かつて経験したことの無い」ことばかりです。東日本大震災の傷も癒えぬまま、コロナ渦に巻き込まれ…で、終わりではないのです。

今、だからこそ、これまで求められてきた教育、これから求められる教育、さらにその先を見つめ、「**ブレのない確かな教育**」を推進していくことが肝要です。

本校では、子供たちが新しい時代を創造する「未来の守護者」として、「**人類の未来を創造し、未来社会を担う資質・能力を育てる教育**」に死力を尽くしていく覚悟です。

【よーいドン! でも、スロースタートで“OK”】

そんなに凄い力(私たち自身ももっていない)を付けることができるのか、と感じた方もいらっしゃると思います。それでも、そんな「**未来の守護者**」を育てることが、私たちの仕事です。

ゴールは、ずっと、ずっと、その先にあります。ですから、焦らず、ゆっくり、のんびりスタートします。「**6月はスロースタート**」です。ゆったり、ゆとりの中で、確かな教育を推進して参ります。3ヶ月もの休校期間は、そのための準備、変革の期間でもあったはずです。

振り返りますと、波瀾万丈、まさに予測不可能が連続した休校期間でした。

- 2/ 3(月) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた感染症対策の徹底について (通知文)
- 2/27(木) 夕刻、政府第15回新型コロナウイルス感染症対策本部より休校要請 →文科省も寝耳に水
- 3 /2(月) 3校時以降、春季休業まで臨時休業 ←前日 2/28(金)決定・通知
- 3 /5(木) 校庭開放開始 3/17(火) 図書館開放開始 ←いずれも前日決定・通知
- 3/24(火) 修了式 3/25(水) 卒業式 4/6(月) 始業式・入学式 いずれも規模を大幅に縮小して挙行
- 3/24(火) 春季休業中の登校日・新学期から教育活動再開について (通知文) →翌々日には登校日中止通知
- 4/ 2(木) 年度当初の予定(4/7(火)~5/6(水)まで臨時休校、週1回の登校日等)について (通知文)
- 4/ 9(月) 緊急事態宣言に係る今後の対応(登校日、給食、校庭・図書館開放等の中止)について (通知文)
- 4/28(火) 休校延長 5/7(木)~及び再開後 6/1(月)~の教育活動等(週1-2回の相談日設定等)について (通知文)
- 4/29(水) 東京都知事のSTAY HOME週間に伴う 5/7(木)・8(金)の児童を登校させない日について (通知)
- 5/25(月) 校庭及び学校図書館開放の開始 ←前日 5/22(金)決定・通知

うぶ
コロナ渦

(このような変更の連続は、場当たりの対応ではなく、文部科学省や教育委員会等が国の情勢を鑑みて、大所高所から判断されたものです。最近、メディアの悪影響なのか、万人が批判ばかりですが、自分は何もせず批判しかしない人々から生まれるものは何もありません。)

令和2年度 学校経営方針 必ず達成する基本方針(公約)

6月1日から、登校が再開されます。当初計画等は、校長日より「かけはし」をご覧ください。ここでは、以下に、前号で示した「未来の守護者」の育成を柱とした重点施策を実現するための、今年度の具体策をまとめました。

信頼される教育の確立	学校の組織力 ○全職員参加による経営参画 分掌⇔企画会議⇔職員会議 ○各自の役割分担の明確化 推進計画⇔自己申告⇔具現化 ○ワンチームでビジョンを共有 通常級・さくら・難言・大空・専科	カリキュラム・マネジメント ○探求的な学びの構築 「総合的な学習の時間」の再構築 ○指導計画の作成 教科等の有機的な関連を図る ○新学習指導要領の完遂 休校による変更の工夫改善	安全・安心 ○感染防止の徹底 学校・家庭・地域が一体的に ○危機管理の徹底 危機管理マニュアルの共有 ○安全教育の充実 SNS 東京ノート、防災ノート等
	「社会に開かれた教育課程」の実現 ○学校・家庭・地域の連携・協働 双方向の情報、議論を重ね、共通の目標を共有 学校関係者評価の結果を教育課程の編成に反映	「共にある教育」の実現 ○相互補完的に協働 互いに当事者となり、未来の学校の姿を見据えて、 学校・保護者・地域・関係機関と“共にある教育”	
確かな学力の着実な定着	指導形態・学習習慣 ○主体的・対話的で深い学び 個→集団→個の授業スタイル ○成就感を味わわせる工夫 個に応じたスモールステップで ○家庭の学習習慣の確立 「学びのすすめ」を積極的に活用	ユニバーサルデザイン ○やさしい教室環境 刺激量の調整、ルールの明確化 ○やさしい学習環境 第一義は、学ぶ楽しさの醸成 ○やさしい授業 分かる板書・発問の技術向上	外部人材・ICT ○地域人材・専門家等の活用 専門性を生かした教育を推進 ○視聴覚機器の活用 図や動画で意欲と理解を促進 ○大型テレビ・実物投影機の活用 児童の思考のプロセスを共有
	自己有用感 ○学級満足度調査を生かした活動の充実 児童による人権集会、いのちの授業、人権作文等 ○一人で悩みを抱えない相談体制の充実 校内委員会の定例化、共通理解、一人を全員で支援	特別支援教育 ○児童の社会性の育成 認知、感情統制、対人スキル、やり抜く力、辛抱する力 ○校内委員会・特別支援教室等の連携 担任、指導教員、専門員、SC等との連携・協働	
健やかな体の育成	豊かなスポーツライフ ○運動の習慣化・日常化 元気アップがトピックを活用した授業・体育朝会・外遊び ○心のバリアフリーの促進 多彩なパラスポーツ体験等を通じた障害者理解	健康教育と食育 ○新型コロナとの関わりから 給食指導、保健指導等、これまでと在り方が異なる ○健康習慣、食習慣の定着 専門家と連携した指導の充実、「グッドモーニング」60分	
	探究学習 ○身近なことから課題発見 探究的な学習に基づく授業実践 ○主体的に解決に取り組む 学んだことを生かして課題を解決	言語活動 ○学校図書館の活用 司書教諭による授業の推進 ○言語能力の確実な育成 言語能力、課題解決能力	情報教育 ○論理的思考力の育成 プログラミング教育の推進 ○情報活用能力の育成 情報リテラシー、情報モラル
輝く未来に向かって	主体的に社会とつながる ○児童が地域・社会・世界に向き合う SDGsを念頭に、多彩な学びを計画的に展開	創造的な未来を切り開く ○コロナに対峙、未知の世界で生きる 社会や未来の作り手としての資質・能力の育成	

「働き方改革」の徹底 教育の質を向上させ、児童・教職員にとって魅力ある学校に！